



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 宮地 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 拓信 (TEL) 048-560-1501
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	60,511	△40.9	△3,086	—	△4,178	—	△5,403	—
2020年3月期第2四半期	102,379	△19.0	1,731	△30.4	83	△93.7	9,679	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △6,251百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 10,866百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△40.45	—
2020年3月期第2四半期	72.62	71.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	129,938	47,219	32.3
2020年3月期	148,959	53,874	32.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 41,992百万円 2020年3月期 48,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,600	△34.5	△5,300	—	△7,300	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

事業再構築のための各施策については進行途上の施策もあり、現時点では、特別損益の予想が見通せず、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	135,992,343株	2020年3月期	135,992,343株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	2,413,103株	2020年3月期	2,432,508株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	133,568,170株	2020年3月期2Q	133,253,986株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	20,111.50	0.00			
2021年3月期(予想)			—	45,000.00	65,111.50

(注)上記のA種類株式の発行数は、20,000株であります。A種類株式は、2019年9月30日に発行しております。

なお、2021年3月期第1四半期の配当は、当初2020年3月期期末に予定していた配当が、第119回定時株主総会を延期したことに伴い、A種類株式の剰余金の配当に係る基準日も併せて変更したことによるものです。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2021年3月期第1四半期のA種類株式の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第1四半期末
1株当たり配当金	20,111円50銭
配当金総額	402百万円

(注)純資産減少割合 0.009

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	
2021年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)における当社グループを取り巻く事業環境は、前半は新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車販売の世界的な需要減少にともなう生産調整が行われる厳しい状況となりました。後半は、地域により差はあるものの自動車需要は回復傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の状況までにはまだ戻っておりません。

このような厳しい事業環境下ではありましたが、当社グループは、事業再生計画に沿って、事業構造改革の各施策を着実に進めてきました。米国の生産2拠点の閉鎖については、テネシー州の工場は1か月予定を早め7月末に、サウスカロライナ州の工場は計画どおり9月末までに完了いたしました。現在はこれら2工場の土地・建物などの売却処理を進めております。日本における国内4工場の縮小については、工場の生産最適化に向けた改善活動を鋭意実施しており、また国内工場から海外工場への生産移管については完成車メーカーとの調整により多少進捗の遅れがあるものの、国内工場間の生産移管は計画より予定を早めて着手しております。欧州においても、フランスのアラス工場及びスロバキア工場について、当社に損失が生じない形での提携又は売却の交渉を継続しております。今後も事業再生計画の下、全ての地域・拠点・事業部門において、聖域なき構造改革を実行し、黒字化の実現を目指します。

当第2四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、米国では完成車メーカーのモデルチェンジによって生産終了となる製品が増えたことに加え、当社が生産拠点を有する全地域において新型コロナウイルス感染症の影響を受け、お客様である完成車メーカーの工場稼働停止や事業活動の制限などがあったことにより、当社グループの受注も大きく減少し、売上高は605億円(前年同期比40.9%減)とリーマンショック時を超える落ち込み率となりました。利益面では、事業構造改革の一部の施策の効果、及び各国政府の休業補償などの補填はありましたが、急激な受注減少による影響が大きく、31億円の営業損失(前期は営業利益17億円)となりました。経常利益については、円高の影響により為替差損を計上したこともあり、42億円の経常損失(前期は経常利益1億円)となりました。

特別損益については、第1四半期に米国の生産2拠点を閉鎖することに伴うリース設備の中途解約損失9億円を含む事業構造改善費用10億円を計上しました。当該損失は、事業再生計画に沿った計上であり、これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億円の損失(前期は97億円の利益)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	1,024	605	△419	△40.9%
営業利益	17	△31	△48	－%
経常利益	1	△42	△43	－%
税金等調整前四半期純利益	107	△52	△159	－%
親会社株主に帰属する四半期純利益	97	△54	△151	－%

地域セグメントごとの業績は次の通りです。

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前期	当期	増減	増減率	前期	当期	増減	増減率
日本	367	257	△110	△29.8%	11	△9	△20	－%
北米	443	209	△235	△52.9%	△12	△25	△13	－%
欧州	73	58	△15	△20.6%	0	△1	△1	－%
中国	81	50	△31	△37.9%	4	△0	△4	－%
タイ	39	26	△13	△33.3%	2	1	△1	△42.7%
インドネシア	98	56	△42	△43.2%	11	1	△10	△90.2%
連結消去	△77	△51	26	－%	1	2	1	42.8%
連結	1,024	605	△419	△40.9%	17	△31	△48	－%

① 日本

新型コロナウイルス感染症の影響により受注が大幅に減少し、5月を底に月ごとに回復傾向にはあるものの、売上高は257億円(前年同期比29.8%減)となりました。

利益面では、前期に行った早期退職措置及び固定資産の減損損失の計上による労務費及び減価償却費の減少、報酬・給与等の減額、経費削減の効果はありましたが、大幅な売上減少にともなう利益減少の影響をカバーするには至らず、9億円の営業損失(前期は営業利益11億円)となりました。

② 北米

完成車メーカーのモデルチェンジによって生産終了となる製品が増えたことにより、過年度から引き続き受注が大幅に減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により受注が4月は9割減少、5月は8割減少(ともに前年同月比)したことで、売上高は209億円(前年同期比52.9%減)となりました。

利益面では、前期から継続して進めてきた人員の適正化及び生産性改善の効果はありましたが、大幅な売上減少による利益減少の影響が大きく、25億円の営業損失(前期は営業損失12億円)となりました。

③ 欧州

新型コロナウイルス感染症の影響により、期初に受注が大幅に減少し、その後、6月以降には受注が回復してきたものの、売上高は58億円(前年同期比20.6%減)となりました。

利益面では、売上減少の影響が大きく、1億円の営業損失(前期は営業利益2千万円)となりました。

④ 中国

新型コロナウイルス感染症の影響により、2月上旬から中旬にかけて工場の稼働を停止しましたが、それ以降徐々に受注が回復してきました。しかしながら、売上高は50億円(前年同期比37.9%減)と大きく落ち込みました。

利益面では、政府による社会保険料の減免や、経費削減の効果はありましたが、売上減少の影響が大きく、1千万円の営業損失(前期は営業利益4億円)となりました。

⑤ タイ

タイの経済成長の鈍化及び新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車販売台数も伸び悩み中、補修品向け製品は増加しましたが、米系完成車メーカーのタイ市場撤退や、海外向け輸出製品の受注減少などもあり、売上高は26億円(前年同期比33.3%減)となりました。

利益面では、生産・調達の合理化に加え、基幹部品である鋳物を外部購入から当社の鋳物工場での内製に切り替え、付加価値を高めたことも寄与し、営業利益は1億円(前年同期比42.7%減)と黒字を維持しました。

⑥ インドネシア

インドネシアの経済成長の鈍化や自動車関連の規制、一部日系完成車メーカーの撤退に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内向けの自動車用製品の受注が減少し、欧州向けグローバルプラットフォーム車用製品の受注も減少したことにより、売上高は56億円(前年同期比43.2%減)となりました。

利益面では、原材料の市場価格上昇による価格転嫁、生産性改善や購入部品の内製化、現地調達への切り替えなどの合理化効果があったものの、売上減少の影響が大きく、営業利益は1億円(前年同期比90.2%減)となりました。

(注) 当第2四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア：2020年1月～2020年6月

(2) 日本・欧州：2020年4月～2020年9月 となります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位: 億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	801	640	△161	流動負債	356	247	△109
現金及び預金	327	241	△86	仕入債務	202	133	△70
売上債権	309	217	△93	有利子負債	40	23	△17
たな卸資産	141	154	13	その他	115	92	△23
その他	24	29	5	固定負債	594	580	△14
固定資産	689	660	△29	有利子負債	500	486	△14
有形固定資産	563	535	△28	その他	94	94	△1
投資有価証券	46	49	3	負債合計	951	827	△124
その他	79	75	△4	純資産	539	472	△67
総資産	1,490	1,299	△190	負債・純資産	1,490	1,299	△190

(資産)

当期末の資産は1,299億円と前期末比190億円の減少となりました。

流動資産は640億円と前期末比161億円の減少となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少などにより売上債権が93億円減少したことに加え、米国の生産2拠点の閉鎖に関連する支出などにより現金及び預金が86億円減少したことによるものです。固定資産は660億円と前期末比29億円の減少となりました。これは主に、減価償却費の計上などにより有形固定資産が28億円減少したことによるものです。

(負債)

当期末の負債は827億円と前期末比124億円の減少となりました。

流動負債は247億円と前期末比109億円の減少となりました。これは主に、売上債権の減少にともない仕入債務が70億円減少したことに加え、米国2拠点の閉鎖に関連する支出などによりリース債務が26億円減少したことによるものです。固定負債は580億円と前期末比14億円の減少となりました。これは主に、長期借入金が10億円、リース債務が3億円減少したことによるものです。なお、有利子負債残高509億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は269億円であります。

(純資産)

当期末の純資産は472億円と前期末比67億円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失54億円の計上に加え、円高の影響により為替換算調整勘定が9億円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比86億円減少の241億円となりました。

(単位: 億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	36	△40	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56	△12	44
計 (フリー・キャッシュ・フロー)	△20	△52	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	195	△34	△229

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、税金等調整前四半期純損失△52億円及び減価償却費30億円に加え、事業再編による支出19億円などにより、資金が減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、日米を中心とした設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出が13億円となり、資金が減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、ファイナンス・リース債務の返済による支出29億円及び配当金の支払額4億円などにより、資金が減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月2日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した通り、売上高1,266億円、営業損失53億円、経常損失73億円から変更はございません。

現在、事業再構築のための各施策に取り組んでおりますが、各施策の実施タイミングを見極めることが難しい状況にあり、特別損益の予想が見通せず、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

<2021年3月期地域別業績予想>

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前期実績	当期予想	増減額	増減率	前期実績	当期予想	増減額	増減率
日本	721	556	△165	△23%	27	△10	△37	—
北米	783	399	△384	△49%	△35	△58	△23	—
欧州	142	131	△11	△8%	1	△1	△2	—
アジア	441	286	△155	△35%	41	13	△28	△68%
連結消去	△154	△106	+48	—	3	3	+0	+17%
合計	1,933	1,266	△667	△35%	37	△53	△90	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,687	24,055
受取手形及び売掛金	30,922	21,652
商品及び製品	4,560	5,231
仕掛品	1,585	1,720
原材料及び貯蔵品	7,940	8,431
その他	2,545	3,041
貸倒引当金	△155	△151
流動資産合計	80,084	63,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,506	50,057
減価償却累計額	△37,448	△37,769
建物及び構築物（純額）	13,058	12,288
機械装置及び運搬具	154,268	152,779
減価償却累計額	△132,263	△132,051
機械装置及び運搬具（純額）	22,005	20,728
土地	13,928	13,846
建設仮勘定	5,871	5,226
その他	22,767	22,826
減価償却累計額	△21,319	△21,415
その他（純額）	1,448	1,412
有形固定資産合計	56,311	53,501
無形固定資産	2,663	2,424
投資その他の資産		
投資有価証券	4,629	4,918
退職給付に係る資産	3,094	3,074
繰延税金資産	626	524
その他	1,553	1,518
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,900	10,034
固定資産合計	68,875	65,958
資産合計	148,959	129,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,223	13,268
短期借入金	316	1,262
1年内返済予定の長期借入金	300	300
リース債務	3,343	722
未払法人税等	751	316
未払費用	6,266	5,397
賞与引当金	1,388	874
設備関係支払手形	230	332
その他	2,831	2,241
流動負債合計	35,648	24,711
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	46,527	45,515
リース債務	1,478	1,132
役員退職慰労引当金	28	29
退職給付に係る負債	2,459	2,452
繰延税金負債	1,396	1,438
再評価に係る繰延税金負債	1,668	1,668
その他	3,881	3,776
固定負債合計	59,438	58,009
負債合計	95,086	82,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	19,933	2,366
利益剰余金	3,813	15,570
自己株式	△1,625	△1,612
株主資本合計	42,060	36,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,881	2,112
土地再評価差額金	3,911	3,911
為替換算調整勘定	937	8
退職給付に係る調整累計額	△379	△301
その他の包括利益累計額合計	6,350	5,729
新株予約権	13	3
非支配株主持分	5,452	5,224
純資産合計	53,874	47,219
負債純資産合計	148,959	129,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	102,379	60,511
売上原価	91,562	56,856
売上総利益	10,817	3,655
販売費及び一般管理費	9,087	6,741
営業利益又は営業損失(△)	1,731	△3,086
営業外収益		
受取利息	25	24
受取配当金	91	85
持分法による投資利益	12	—
雇用調整助成金	—	489
その他	151	79
営業外収益合計	280	678
営業外費用		
支払利息	995	522
為替差損	339	446
製品補償費	133	54
休業手当	—	401
その他	461	348
営業外費用合計	1,928	1,770
経常利益又は経常損失(△)	83	△4,178
特別利益		
固定資産売却益	58	1
投資有価証券売却益	49	—
債務免除益	43,063	—
補助金収入	18	22
新株予約権戻入益	10	1
その他	500	—
特別利益合計	43,697	24
特別損失		
固定資産除売却損	118	4
減損損失	24,020	—
投資有価証券売却損	16	—
事業構造改善費用	1,155	1,025
リコール関連損失	7,804	—
特別損失合計	33,113	1,029
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	10,666	△5,183
法人税、住民税及び事業税	699	198
法人税等調整額	△103	16
法人税等合計	596	215
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,071	△5,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	391	5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,679	△5,403

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,071	△5,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	845	230
為替換算調整勘定	△155	△1,162
退職給付に係る調整額	105	78
その他の包括利益合計	795	△853
四半期包括利益	10,866	△6,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,544	△6,024
非支配株主に係る四半期包括利益	322	△227

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	10,666	△5,183
減価償却費	4,933	3,009
減損損失	24,020	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	327	170
受取利息及び受取配当金	△116	△110
支払利息	995	522
持分法による投資損益(△は益)	△12	—
固定資産除売却損益(△は益)	61	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△33	—
債務免除益	△43,063	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,566	8,829
たな卸資産の増減額(△は増加)	905	△1,479
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,893	△6,574
その他	6,852	129
小計	5,163	△693
利息及び配当金の受取額	116	110
利息の支払額	△957	△521
法人税等の支払額	△732	△820
法人税等の還付額	13	22
事業再編による支出	—	△1,861
その他	—	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,604	△3,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,947	△1,312
国庫補助金等による収入	36	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	96	69
投資有価証券の取得による支出	△6	△0
投資有価証券の売却による収入	229	—
その他	△2	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,594	△1,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	793	932
長期借入金の返済による支出	△128	△679
株式の発行による収入	19,928	—
配当金の支払額	—	△402
非支配株主への配当金の支払額	△422	△373
セール・アンド・リースバックによる収入	108	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△748	△2,877
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,530	△3,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	△75
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,620	△8,632
現金及び現金同等物の期首残高	18,794	32,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,414	24,055

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月30日開催の定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金を17,160百万円減少し、同額をその他利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の広がりや、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、主要なお客様である完成車メーカーにおいても生産調整を行ってきたことにより、当社グループにおいても、全ての地域において生産拠点の一時的な稼働停止等の影響が出てきておりますが、一方では、経済再開の動きもあり徐々に回復に向かいつつあります。

当該感染症の収束時期及び当社グループの業績に与える影響を合理的に予測することは困難であります。お客様からの足元の受注情報・業績の見通し等の外部情報を踏まえ、前期末と同様、2020年4～6月を底に、年末まで徐々に回復し、来年年明け以降、元の水準にほぼ回復するとの一定の仮定のもと、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、当社グループの業績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	32,489	43,136	6,731	7,852	3,614	8,557	102,379	—	102,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,208	1,206	578	261	268	1,216	7,737	△7,737	—
計	36,696	44,342	7,309	8,113	3,882	9,773	110,116	△7,737	102,379
セグメント利益 又は損失(△)	1,066	△1,181	19	402	210	1,098	1,614	117	1,731

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア	全社・消去	合計
減損損失	23,894	—	126	—	—	—	—	24,020

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	23,054	19,786	5,330	4,997	2,394	4,951	60,511	—	60,511
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,693	1,103	474	38	197	602	5,107	△5,107	—
計	25,746	20,888	5,804	5,035	2,591	5,553	65,618	△5,107	60,511
セグメント利益 又は損失(△)	△923	△2,458	△88	△12	120	108	△3,253	167	△3,086

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2021年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要

2020年11月12日

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2019. 4～2019. 9)		当第2四半期連結累計期間 (2020. 4～2020. 9)		増減	増減率
売上高	(100. 0)	102, 379	(100. 0)	60, 511	△41, 868	△40. 9%
売上総利益	(10. 6)	10, 817	(6. 0)	3, 655	△7, 162	△66. 2%
営業利益	(1. 7)	1, 731	(-)	△3, 086	△4, 816	-
経常利益	(0. 1)	83	(-)	△4, 178	△4, 261	-
特別損益		10, 584		△1, 005	△11, 589	-
税前四半期純利益	(10. 4)	10, 666	(-)	△5, 183	△15, 850	-
法人税等・調整額		596		215	△381	△64. 0%
非支配株主に帰属する四半期純利益		391		5	△386	△98. 7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(9. 5)	9, 679	(-)	△5, 403	△15, 083	-
総資産	(前期末)=2020年3月期	148, 959	(当期末)	129, 938	△19, 021	△12. 8%
純資産	(前期末)	53, 874	(当期末)	47, 219	△6, 655	△12. 4%
自己資本	(前期末)	48, 409	(当期末)	41, 992	△6, 418	△13. 3%
自己資本比率	(前期末)	32. 5%	(当期末)	32. 3%	△0. 2%	
現預金	(前期末)	32, 687	(当期末)	24, 055	△8, 632	
有利子負債	(前期末)	53, 965	(当期末)	50, 931	△3, 034	
ネット有利子負債	(前期末)	21, 278	(当期末)	26, 876	5, 598	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	0. 44倍	(当期末)	0. 64倍	+0. 20倍	
営業CF		3, 604		△3, 963	△7, 566	
(内数：減価償却費)		(4, 933)		(3, 009)	(△1, 925)	
投資CF		△5, 594		△1, 196	4, 398	
(内数：設備投資)		(△5, 947)		(△1, 312)	(4, 635)	
フリーCF		△1, 991		△5, 158	△3, 168	
財務CF		19, 530		△3, 399	△22, 929	
連結子会社数	(前期末)	24社	(当期末)	24社	-	
期中平均レート	USD	USD 110. 0円	USD	108. 2円	△1. 7円	
	EUR / CNY	EUR 120. 9円/ CNY 16. 2円	EUR 121. 7円/ CNY 15. 3円	0. 8円/	△0. 9円	
	THB / IDR	THB 3. 5円/ IDR 0. 008円	THB 3. 4円/ IDR 0. 007円	△0. 1円/	△0. 000円	

2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (2019. 4～2019. 9)		当第2四半期連結累計期間 (2020. 4～2020. 9)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本		36, 696		25, 746	△10, 950	△29. 8%	-
	北米		44, 342		20, 888	△23, 454	△52. 9%	△334
	欧州		7, 309		5, 804	△1, 505	△20. 6%	36
	中国		8, 113		5, 035	△3, 078	△37. 9%	△299
	タイ		3, 882		2, 591	△1, 291	△33. 3%	△45
	インドネシア		9, 773		5, 553	△4, 220	△43. 2%	△300
	連結消去		△7, 737		△5, 107	2, 630	-	-
	連結		102, 379		60, 511	△41, 868	△40. 9%	△943
営業利益	日本	2. 9%	1, 066	-	△923	△1, 989	-	-
	北米	-	△1, 181	-	△2, 458	△1, 277	-	39
	欧州	0. 3%	19	-	△88	△106	-	△1
	中国	5. 0%	402	-	△12	△414	-	1
	タイ	5. 4%	210	4. 6%	120	△90	△42. 7%	△2
	インドネシア	11. 2%	1, 098	1. 9%	108	△990	△90. 2%	△6
	連結消去	-	117	-	167	50	42. 8%	-
	連結	1. 7%	1, 731	-	△3, 086	△4, 816	-	32